こころの臨床・専門講座７

事例に学ぶ「気になる子ども」と

その家族への支援

講座№１５１０７

期　　　日 ： ２０１６年　３月　５日（土）　　１２：３０ ～ １７：００

受講対象 ： 教師・心理士・保育士・保健師など子どもの支援に携わる方および大学生・大学院生など

定　　　員 ： ３０名（満員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

受 講 料 ： ３,０００円（税込み）

**会　　　場 ： 宇都宮大学　峰町８号館（教育学部）３階　Ａ棟　８A３６号教室**

　　　　　　　　　〒321-8505　栃木県宇都宮市峰町３５０　宇都宮大学　峰キャンパス

　　　　　　　　 　　　　　　　　 （ＪＲ宇都宮駅西口より　ＪＲバスにて約15分　「宇大前」下車）

■*峰キャンパスへのアクセス* ⇒ http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/access.php

■*キャンパスマップ* ⇒http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/campus\_map.php

**※自家用車での来場はできませんので、公共交通機関をご利用ください。**

主　　　催 ： 公益財団法人　明治安田こころの健康財団　　　　TEL：０３-３９８６-７０２１

**「不登校が続いている」「授業に参加できない」「友達に手をあげてしまう」など、私たち大人が「気になる」と感じる子どもの行動は、多くの教育現場で見られます。このような子どもたちには、発達障がいのような診断的特性に応じた働きかけが求められることもありますが、現場で日々子どもと向き合う中では、「心をしっかりと読み取り」「それに応じて具体的にどのように関わるとよいのか」と悩むことも多いのではないでしょうか。**

**また、子どもが心配な状態にある時、家族への支援も重要であると言われていますが、個々のケースに応じて保護者等へ適切な支援を行うことに難しさを感じることも少なくありません。**

**そこで、本講座では、心理・発達面に課題がある子どもとその家族への支援について、具体例を挙げてお話しし、皆様と一緒に理解を深め、支援方法を見出していきたいと考えております。**

**【講義 １】では、宇都宮大学の川原誠司先生にご登壇いただき、栃木県内等の教育現場の状況もふまえながら、主に「学校における保護者への支援」についてお話しいただきます。**

**【講義 ２】では、当相談室において、臨床心理士として携わっている心理・発達相談の実践例を挙げ、「子どもの心理・発達課題に応じた支援方法の工夫」について考えてまいります。**

**【ケース検討】では、学校内で深刻な問題行動が見られるなど、教育現場で「対応が難しい」といった声の上がるようなケースに対する支援の試みを報告します。ケース検討を通して、子どもと親への支援、そして支援者間の連携などについて、さまざまな角度から考えるきっかけとなればと考えております。**

【**すこやか育成相談室　室長　　野並　美雪**】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| *プログラム* | 時　間 | テ　ー　マ | 講　師 （敬称略） |
| 12:30  ～  13:30 | 【講義１】  学校における保護者への支援 | 宇都宮大学　教育学部  准教授　　　　　　　　　　川原　誠司 |
| 13:45  ～  14:45 | 【講義２】  子どもの心理・発達課題に応じた支援方法の工夫 | （公財）明治安田こころの健康財団  すこやか育成相談室  室長　　　　　　　　　　　 野並　美雪 |
| 15:00  ～  17:00 | 【ケース検討】  学校で深刻な問題行動が見られるケースへの支援の試み  ―支援者間の連携を支えに― | 【ケース報告】すこやか育成相談室  （前掲）　　　　　　　　 　野並　美雪  副室長　　　　　　　　　　松浦　麻美子  【コメンテーター】  （前掲）　　　　　　　　　　川原　誠司 |

※ 時間・テーマ等は、多少内容が異なる場合があります。その際は、ご了承願います。